

## 「中東・イラン情勢の緊迫化に伴う経営影響アンケート」調査結果

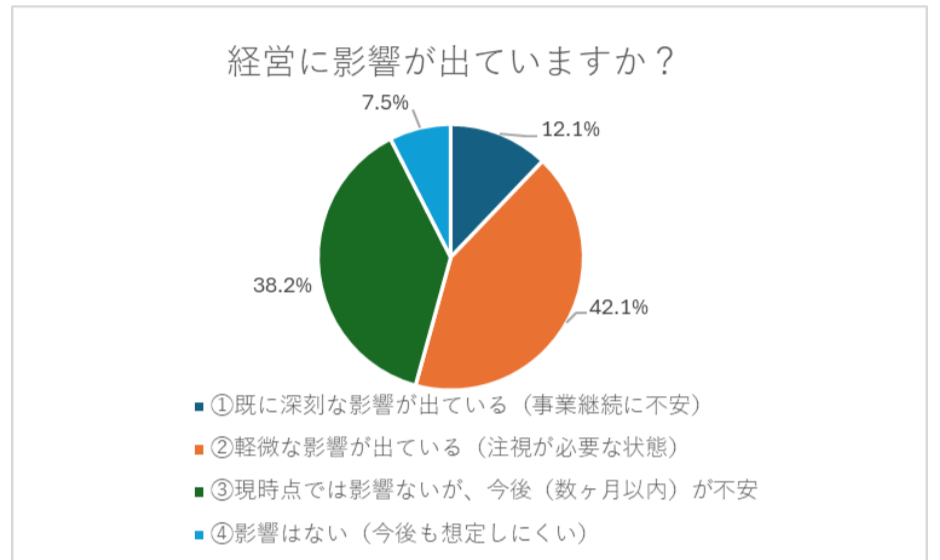
- 【調査機関】 加古川商工会議所  
 【調査期間】 令和8年4月3日（金）～10日（金）  
 【調査方法】 加古川商工会議所会員事業所のうちFAX登録のある2,051件に対して、4/3にFAX一斉送信  
 → 同調査票に記入後FAX返信、もしくは調査票記載の二次元コードを読み込み後、WEB上から回答  
 【回答数】 FAX 181件、WEB 101件 計 282件 （回答率 13.7%）

業種分布	件数	%
①建設業	65	23.0%
②製造業	53	18.8%
③卸売・小売業	70	24.8%
④飲食業	7	2.5%
⑤サービス業	44	15.6%
⑥その他	43	15.2%
合 計	282	100.0%

規模分布	件数	%
①従業員：20名以下	191	68.0%
②従業員：21～100名	59	21.0%
③従業員：100名以上	31	11.0%
合 計	281	100.0%

(1) 昨今の情勢変化により、貴社の経営に影響が出ていますか？

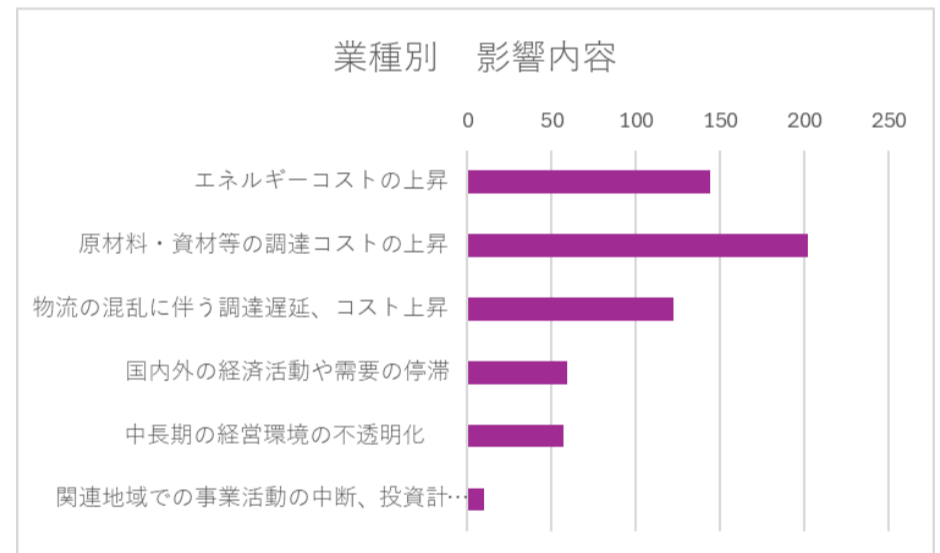
	件数	%
①既に深刻な影響が出ている（事業継続に不安）	34	12.1%
②軽微な影響が出ている（注視が必要な状態）	118	42.1%
③現時点では影響ないが、今後（数ヶ月以内）が不安	107	38.2%
④影響はない（今後も想定しにくい）	21	7.5%
合 計	280	100.0%



(2) (前問①～③を回答した方に) どのような影響が出ていますか？

(または懸念していますか?) <<複数回答可>>

	件数	%
エネルギーコストの上昇	144	24.2%
原材料・資材等の調達コストの上昇	202	34.0%
物流の混乱に伴う調達遅延、コスト上昇	122	20.5%
国内外の経済活動や需要の停滞	59	9.9%
中長期の経営環境の不透明化	57	9.6%
関連地域での事業活動の中断、投資計画の凍結	10	1.7%
合 計	594	100.0%

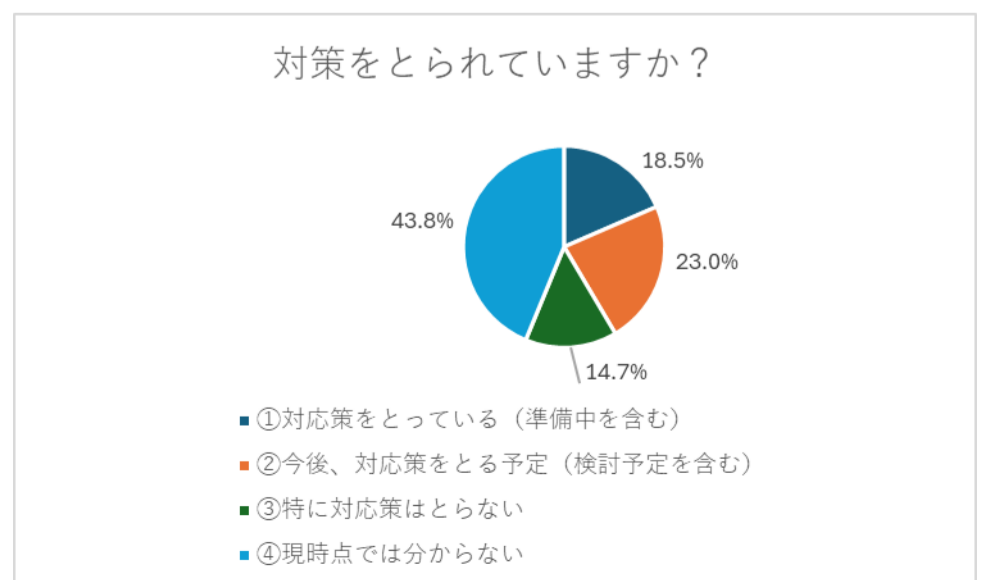


### ※影響（懸念）の内容〔抜粋〕

- ・シンナー等溶剤が完全にストップし、燃料も出荷制限がかかり商売ができない。2026年度は営業そのものができない大変な状況です
- ・石油製品の仕入れの困難（塗料・シンナー・養生道具関係）
- ・エンジンオイル・塗料用シンナーのオーダーがストップしました。今後材料が入ってこなければ受注停止になります。在庫から想定して1～2か月後
- ・副資材（機械油など）の出荷制限が行われており、通常の使用分が概して難しくなっている
- ・包装フィルムやインク、塗料等の供給元から供給が不可となるとの連絡あり
- ・重油の値上がり、石油由来の副資材（ストレッチフィルム・結束紐等）の値段が上がっているが、製品への価格転嫁が難しい
- ・原材料費の高騰止まらないのに販売価格に転嫁出来ずに利益がでない
- ・建築原材料コストが高騰するが商品価格に転嫁をし難い
- ・特に肥料、農薬や資材の価格高騰
- ・潤滑油不足による車両の稼働台数不足
- ・価格だけでなく原料や副資材が調達できなければ製造が止まる可能性

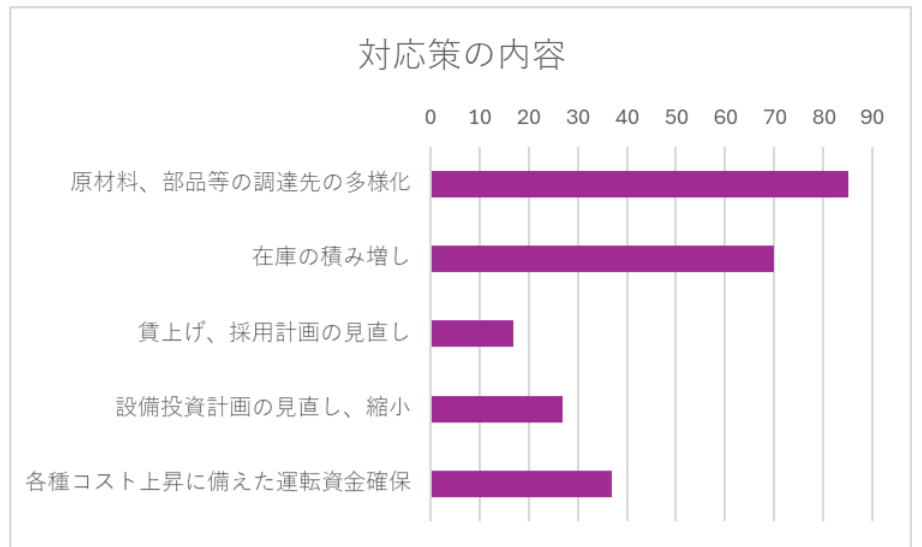
(3) 中東・イラン情勢の影響への対応をとられていますか？

	件数	%
①対応策をとっている（準備中を含む）	49	18.5%
②今後、対応策をとる予定（検討予定を含む）	61	23.0%
③特に対応策はとらない	39	14.7%
④現時点では分からない	116	43.8%
合 計	265	100.0%



(4) (前問①②を回答した方に) 対応策(準備、予定、検討を含む)は? 《複数回答可》

件数	件数	%
原材料、部品等の調達先の多様化	85	36.0%
在庫の積み増し	70	29.7%
賃上げ、採用計画の見直し	17	7.2%
設備投資計画の見直し、縮小	27	11.4%
各種コスト上昇に備えた運転資金確保	37	15.7%
合計	236	100.0%



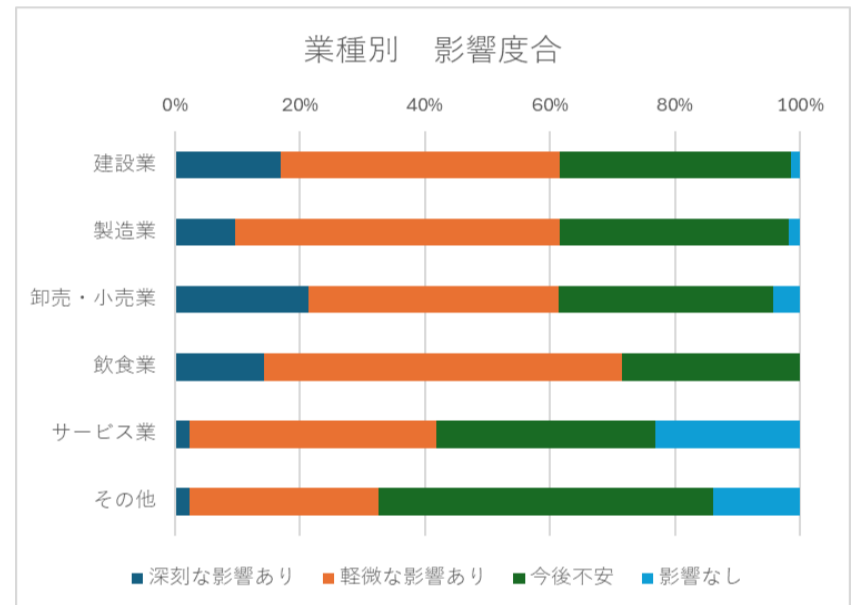
※対応策の内容 [抜粋]

- ・ 消耗品使用量の見直し (ビニールやドライアイス・ペーパーなど)
- ・ 在庫の確保を行っていますが、長期 (半年~1年) に及ぶと深刻な影響を受けます
- ・ 石油関連に資する価格上昇、調達量、期間の不透明性のため調達先の数を増やす
- ・ 大きな投資は不可能だが、毎日1%の改善で、微々たる生産性向上だが、その積み重ねで、現金残高を意識した経営に舵取り、生き残りを計りたい
- ・ 外的要因が大きい為に、たかだかの中小企業が自社で対策をしたところで、何の防御にもならない
- ・ 資金計画をしたところで中長期に期間が及べば零細企業はもたないし、またその状況で賃上げなどあり得ない
- ・ 消耗品等の在庫を多めに確保する
- ・ 材料の確保及びお客様への呼びかけ

《クロス集計等》

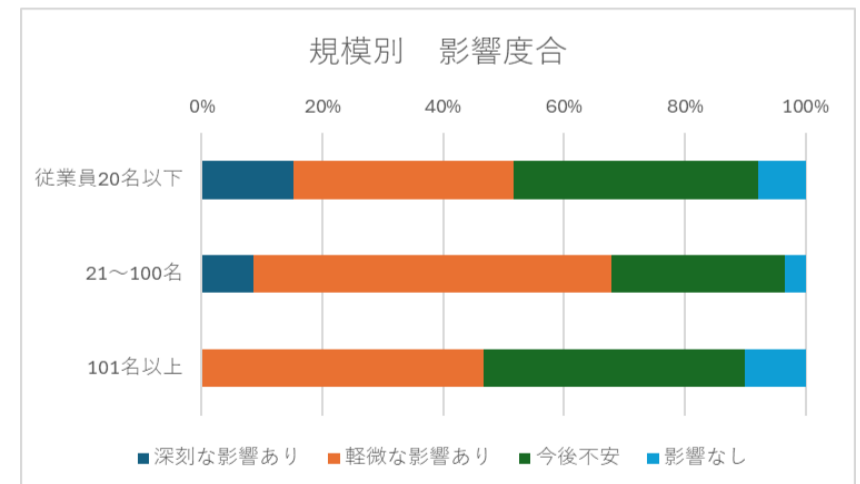
業種別 影響度合

	深刻な 影響あり	軽微な 影響あり	現時点で 影響ないが 今後不安	影響なし	計
建設業	11	29	24	1	65
製造業	5	27	19	1	52
卸売・小売業	15	28	24	3	70
飲食業	1	4	2	0	7
サービス業	1	17	15	10	43
その他	1	13	23	6	43
計	34	118	107	21	280



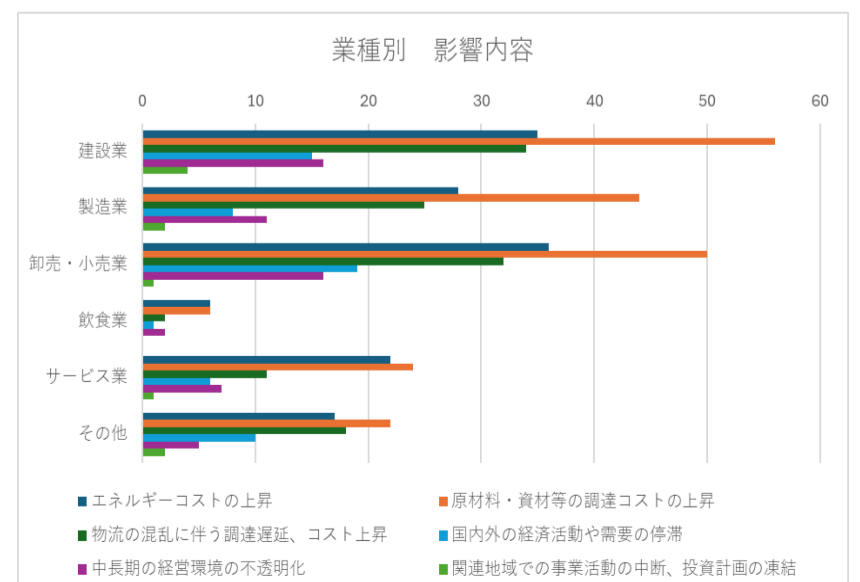
規模別 影響度合

	深刻な 影響あり	軽微な 影響あり	今後不安	影響なし	計
従業員20名以下	29	69	77	15	190
21~100名	5	35	17	2	59
101名以上	0	14	13	3	30
計	34	118	107	20	279



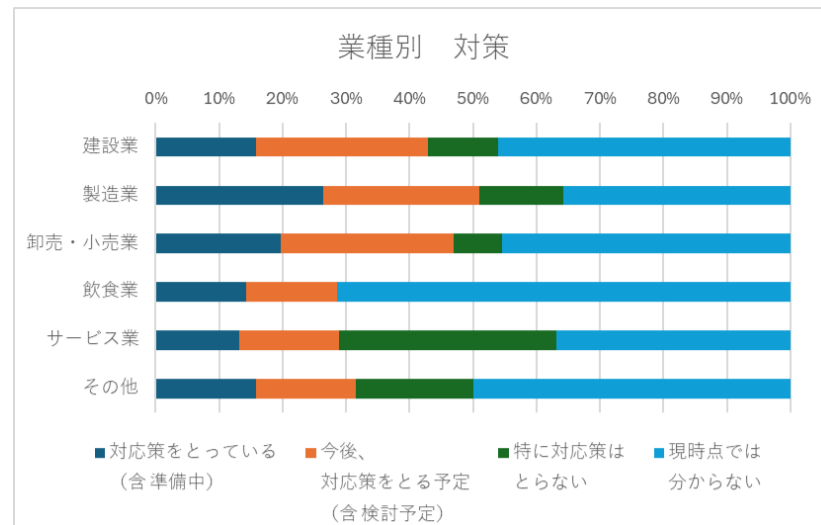
業種別 影響内容

	エネルギー コストの 上昇	原材料・資材等の 調達コストの 上昇	物流の混乱に伴う 調達遅延、 コスト上昇	国内外の 経済活動や 需要の停滞	中長期の 経営環境の 不透明化	関連地域での 事業活動の中断、 投資計画の凍結	計
建設業	35	56	34	15	16	4	160
製造業	28	44	25	8	11	2	118
卸売・小売業	36	50	32	19	16	1	154
飲食業	6	6	2	1	2	0	17
サービス業	22	24	11	6	7	1	71
その他	17	22	18	10	5	2	74
計	144	202	122	59	57	10	594



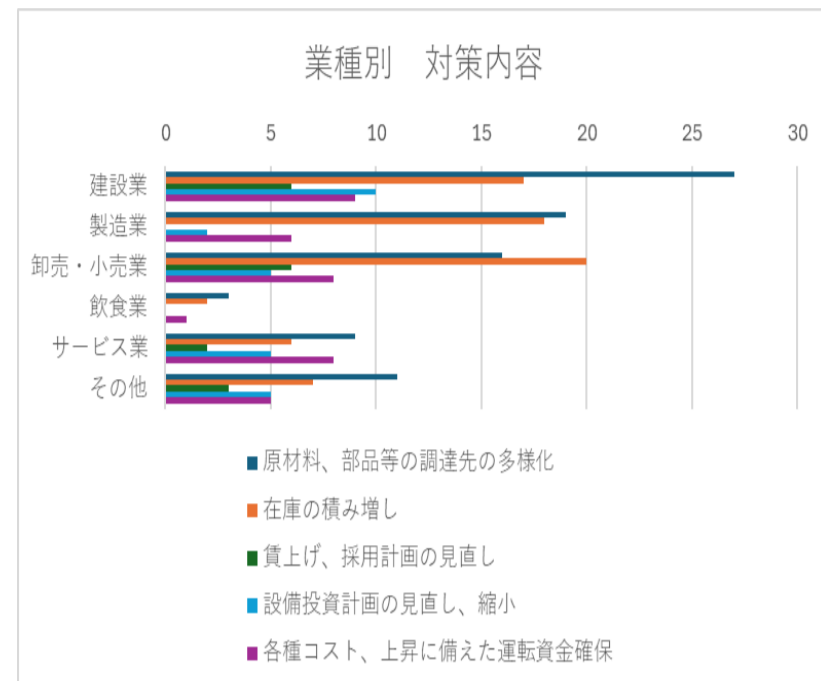
業種別 対策

	対応策をとっている (含 準備中)	今後、 対応策をとる予定 (含 検討予定)	特に対応策は とらない	現時点では 分からない	計
建設業	10	17	7	29	63
製造業	14	13	7	19	53
卸売・小売業	13	18	5	30	66
飲食業	1	1	0	5	7
サービス業	5	6	13	14	38
その他	6	6	7	19	38
計	49	61	39	116	265



業種別 対策内容

	原材料、部品等の 調達先の多様化	在庫の積み増し	賃上げ、 採用計画の 見直し	設備投資計画の 見直し、縮小	各種コスト、 上昇に備えた 運転資金確保	計
建設業	27	17	6	10	9	69
製造業	19	18	0	2	6	45
卸売・小売業	16	20	6	5	8	55
飲食業	3	2	0	0	1	6
サービス業	9	6	2	5	8	30
その他	11	7	3	5	5	31
計	85	70	17	27	37	236



※自由意見 [抜粋]

- ・資材の調達ができなければ、生産調整また価格を上げないといけない
- ・現段階で事が済めばなんとか乗り越えることができますが、先行きが不透明なため、将来的には全く展開が見えてこない
- ・在庫の積み増しをしているが、消防法により限界がある。一時的な危険物貯留の緩和などが認められたら良いのですが
- ・確認申請その他申請業務を急いでほしい。お客様契約時期と実際の工事の時期がズレるため予算が合わない
- ・中小企業への燃油費等の補助
- ・2カ月～3カ月分は確保、今後の見積もりは材料の上昇具合がわからないのでどうすればよいか？
- ・医療材料・物資の安定供給、特にグローブ・マスクが入荷困難な状況です
- ・材価格上昇前の契約およびローン契約によりコスト上昇分の価格転嫁ができず利益の圧迫による経営難
- ・介護報酬は決まっているため価格転嫁が困難
- ・シンナーが入荷せず、協力会社の塗装工程に重大な影響が出ている
- ・使い捨てビニール手袋が品薄である
- ・包装資材の品不足・高騰で困っていて、使い方にも工夫し試行錯誤しています
- ・特例の低利融資、既存債務の返済猶予
- ・原材料が入って来ない限りは建築が進まないのも商品化ができない。建設業や不動産業者でも建築している企業には運転資金の低金利融資をお願いしたい
- ・燃料費、電気代等の補助、従業員を休ませた時の補助等希望